

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公表番号】特表 2004-524888 (P2004-524888A)

【公表日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)

【年通号数】公開・登録公報 2004-032

【出願番号】特願 2002-555846 (P2002-555846)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 L 9/01

A 6 1 L 9/14

C 1 1 B 9/00

【F I】

A 6 1 L 9/01 K

A 6 1 L 9/01 R

A 6 1 L 9/01 V

A 6 1 L 9/14

C 1 1 B 9/00 C

C 1 1 B 9/00 D

C 1 1 B 9/00 J

C 1 1 B 9/00 M

C 1 1 B 9/00 Q

C 1 1 B 9/00 R

C 1 1 B 9/00 S

C 1 1 B 9/00 T

C 1 1 B 9/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 9 月 11 日 (2003.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

処理しようとする環境に臭気マスキング組成物を分布または噴霧することを含む非毒性の臭気低減方法において、該臭気マスキング組成物が、テルペン、コーンスターチ、マンガン塩、精油およびポリビニルピロリドンから選択される少なくとも 1 種の臭気マスキング成分 (A)、および精油、香料 (flavoring agents) および芳香剤 (fragrances) から選択されかつ G R A S (一般に安全と認められている) 香料ベンジルアルコールを少なくとも含有するフレーバー成分 (C) を含有する、非毒性の臭気低減方法。

【請求項 2】

臭気マスキング成分 (A) がポリビニルピロリドンを少なくとも含有する請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

ポリビニルピロリドンが分子量 10,000 ~ 60,000、好ましくは 30,000 ~ 50,000 を有する請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

臭気マスキング成分 (A) の割合が、臭気マスキング組成物の 0.001 ~ 50 重量 %

、好ましくは 0.1 ~ 20 重量%である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

臭気マスキング組成物が、機能性フレーバー成分 (B) を更に含有し、該機能性フレーバー成分 (B) が、以下の物質のうち 1 種またはそれ以上、最も好ましくはそれ以上を含有する請求項 1 ~ 4 記載の方法：

酪酸ヘキシル、酢酸オクチル、イソ酪酸イソブチル、酢酸 cis-3-ヘキセン-1-イル、 γ -デカラクトン、カプロン酸エチル、酢酸ブチル、安息香酸エチル、酪酸エチル、酢酸ヘキシル、カプロン酸メチル、フェニルエチルアルコール、シトロネロール、ウンデシルアルデヒド、酢酸ベンジルフェニル、桂皮アルコール、オイゲノール、酢酸ベンジル、リナロール、cis-ジャスモン、アントラニル酸アセチルメチル、cis-3-ヘキセン-1-オール、サリチル酸 cis-3-ヘキセン-1-イル、安息香酸メチル、サリチル酸メチル、酢酸ゲラニル、酢酸 cis-3-ヘキセン-1-イル、リツェア・クベバ (Litsea cubeba)、オレンジオイル、フェニルプロピルアルコールおよび酢酸フェニルエチル。

【請求項 6】

機能性フレーバー成分 (B) の割合が、臭気マスキング組成物の 0.001 ~ 20 重量%、好ましくは 0.1 ~ 5 重量%である請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

臭気マスキング組成物中の前記フレーバー成分 (C) の割合が、0.001 ~ 95 重量%、好ましくは 0.1 ~ 80 重量%である請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

前記フレーバー成分 (C) が少なくとも 2 種の GRAS (一般に安全と認められている) 香料を含有し、好ましくは GRAS フレーバーアルコールおよび/または GRAS ポリフェノール化合物を含有する請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

前記フレーバー成分 (C) が、

(a) 1 種またはそれ以上の GRAS フレーバーアルコールまたはその誘導体、および

(b) (b1) ポリフェノール化合物、および

(b2) GRAS フレーバー酸またはその誘導体

から選択される 1 種またはそれ以上の香料

を含有する請求項 1 記載の方法。

【請求項 10】

前記フレーバー成分 (C) が、

成分 (a) を 0.1 ~ 99 重量%、好ましくは 0.5 ~ 99 重量%、

成分 (b1) を 0 ~ 25 重量%、好ましくは 0.01 ~ 10 重量%、および

成分 (b2) を 0 ~ 70 重量%、好ましくは 0.01 ~ 30 重量%

含有する請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

GRAS フレーバーアルコール (a) が、ベンジルアルコール、アセトイン、エチルアルコール、イソ-プロピルアルコール、プロピレングリコール、グリセロール、n-ブチルアルコール、イソ-ブチルアルコール、ヘキシルアルコール、L-メントール、オクチルアルコール、桂皮アルコール、 α -メチルベンジルアルコール、ヘプチルアルコール、n-アミルアルコール、イソ-アミルアルコール、アニスアルコール、シトロネロール、n-デシルアルコール、ゲラニオール、 α -ヘキセノール、ラウリルアルコール、リナロール、ネロリドール、ノナジエノール、ノニルアルコール、ロジノール、テルピネオール、ボルネオール、クリネオール、アニソール、クミニルアルコール、10-ウンデセン-1-オール、1-ヘキサデカノール、またはこれらの誘導体から選択され、

前記ポリフェノール化合物 (b1) が、カテコール、レゾルシノール、ヒドロキノン、フロログルシノール、ピロガロール、シクロヘキサン、ウスニン酸、アシルポリフェノール、リグニン、アントシアン、フラボン、カテコール類、没食子酸誘導体、コーヒー酸、フラボ

ノイド、前記ポリフェノールの誘導体、およびツバキ、プリムラからの抽出物から選択され、および

前記 G R A S 酸 (b2) が、酢酸、アコニット酸、アジピン酸、蟻酸、リンゴ酸、カプロン酸、ヒドロ桂皮酸、ペラルゴン酸、乳酸、フェノキシ酢酸、フェニル酢酸、吉草酸、イソ吉草酸、桂皮酸、クエン酸、マンデル酸、酒石酸、フマル酸、タンニン酸、およびこれらの誘導体から選択される請求項 9 または 10 記載の方法。

【請求項 12】

前記フレーバー成分が、

(a1) 必須成分としての芳香族 G R A S アルコール、特にベンジルアルコール、および任意に

(a2) 1 種またはそれ以上の更なる G R A S フレーバーアルコールまたはその誘導体、および

(b1) 1 種またはそれ以上のポリフェノール化合物、および / または

(b2) 1 種またはそれ以上の G R A S 酸またはその誘導体

を含有する請求項 8 ~ 11 のいずれかに記載の方法。

【請求項 13】

前記フレーバー成分が、

ベンジルアルコールを 0 . 1 ~ 99 重量 %、好ましくは 0 . 1 ~ 75 重量 %、

成分 (a2) を 0 ~ 99 . 8 重量 %、好ましくは 0 . 01 ~ 99 重量 %、および

成分 (b1) を 0 ~ 25 重量 %、好ましくは 0 . 01 ~ 10 重量 %、

成分 (b2) を 0 ~ 70 重量 %、好ましくは 0 . 01 ~ 30 重量 %

含有する請求項 12 記載の方法。

【請求項 14】

前記フレーバー成分が、(c)フェノール、(d)エステル、(e)テルペン、(f)アセタール、(g)アルデヒドおよび(h)精油から選択される更なる G R A S 香料を含有する請求項 7 ~ 13 のいずれかに記載の方法。

【請求項 15】

前記フレーバー成分が、更なる G R A S 香料 (c) ~ (h) を 0 . 001 ~ 25 重量 %、好ましくは 0 . 01 ~ 9 重量 % 含有する請求項 14 記載の方法。

【請求項 16】

更なる G R A S 香料が、フェノール (c) および / または精油 (h) である請求項 14 または 15 記載の方法。

【請求項 17】

前記フレーバー成分が G R A S 香料の誘導体を含まない請求項 7 ~ 16 のいずれかに記載の方法。

【請求項 18】

前記フレーバー成分が、1 種または 2 種の G R A S フレーバーアルコール (a2) および少なくとも 1 種のポリフェノール化合物 (b1) を含有する請求項 12 ~ 17 のいずれかに記載の方法。

【請求項 19】

前記ポリフェノール化合物 (b1) がタンニンである請求項 18 記載の方法。

【請求項 20】

前記フレーバー成分が、ベンジルアルコールを 0 . 1 ~ 20 重量 % およびタンニンを 0 . 01 ~ 10 重量 % 含有する請求項 19 記載の方法。

【請求項 21】

前記組成物が、炭素数 2 ~ 10 の多価のアルコール、乳化剤、安定化剤、酸化防止剤、防腐剤、溶媒および / またはキャリアーを更に含有する請求項 7 ~ 20 のいずれかに記載の方法。

【請求項 22】

空気中への前記臭気マスキング組成物の噴霧が、二液ノズルシステム、蒸発システム、

バブラー装置またはウィックシステム(wick system)によって行われる請求項 7 ~ 21 のいずれかに記載の方法。

【請求項 23】

処理しようとする環境に供給される気体と臭気マスキング組成物との混合物中の臭気マスキング組成物の割合が少なくとも 100 ppt、好ましくは少なくとも 10 ppt である請求項 22 記載の方法。

【請求項 24】

空気 1 m³ に対して毎時 0 . 000001 ~ 1 mL の投薬量が、臭気マスキング組成物の分布または噴霧によって達成される請求項 22 記載の方法。

【請求項 25】

請求項 1 ~ 21 のいずれかに記載の非毒性の臭気低減用の臭気マスキング組成物。

【請求項 26】

非毒性の臭気低減のための請求項 25 記載の臭気マスキング組成物の使用。